



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日

上場会社名 三井金属鉱業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 仙田 貞雄
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 境 克也 (TEL) 03-5437-8028
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	345,351	7.0	23,037	31.2	23,696	29.9	17,098	46.6
26年3月期第3四半期	322,641	5.1	17,565	76.8	18,243	91.3	11,665	113.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 27,173百万円(32.6%) 26年3月期第3四半期 20,489百万円(199.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	29.94	-
26年3月期第3四半期	20.42	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	533,809	194,390	34.6	323.75
26年3月期	503,825	169,867	31.9	281.67

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 184,901百万円 26年3月期 160,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	4.00	4.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	6.6	27,800	8.0	28,500	108.7	19,000	418.8	33.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	572,966,166株	26年3月期	572,966,166株
27年3月期3Q	1,842,447株	26年3月期	1,832,185株
27年3月期3Q	571,128,479株	26年3月期3Q	571,144,133株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と大きく異なる場合があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、消費増税後の個人消費低迷に加えて、急激な円安による輸入品を中心とした原材料価格の上昇、欧州や中国などの海外経済の景気減速懸念等があるものの、政府の経済対策や日銀の追加金融緩和による円安・株高の継続、円安や原油価格の下落による企業の業績改善などにより景気は緩やかな回復基調の中で推移しました。

このような環境のもと、当社グループの売上高は、円安効果やLME（ロンドン金属取引所）価格の上昇による金属セグメントを中心とした増収に加えて、機能材料セグメントにおいて排ガス浄化触媒、極薄銅箔および薄膜材料製品の販売が好調であったことや自動車機器セグメントにおいて北米および中国市場で販売が好調であったこと等の影響により、当第3四半期連結累計期間は、前年同期比227億円（7.0%）増加の3,453億円となりました。

損益面では、前期計上した薄膜材料のたな卸資産の見積り変更による影響の剥落があったものの、機能材料セグメントや自動車機器セグメントでの増販、円安効果やそれに伴うたな卸資産の在庫影響による要因（以下「在庫要因」）等により、営業利益は前年同期比54億円（31.2%）増加の230億円となり、経常利益は、前年同期比54億円（29.9%）増加の236億円となりました。

また、特別損益においては、固定資産売却益等を特別利益に、固定資産除却損等を特別損失にそれぞれ計上し、さらに税金費用及び少数株主利益を計上した結果、四半期純利益は前年同期比54億円（46.6%）増加の170億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、平成26年4月1日付の全社的な組織改編に伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分方法を変更しております。

①機能材料

排ガス浄化触媒、スマートフォン向け極薄銅箔および液晶パネル向け薄膜材料製品などの販売が好調であったこと等により当セグメントの売上高は前年同期比115億円（11.1%）増加の1,155億円となりましたが、経常利益は、前期計上した薄膜材料のたな卸資産の見積り変更による影響の剥落や在庫要因の影響等により30億円（21.6%）減少の109億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

電解銅箔（当第3四半期連結累計期間の生産量26千t）

②金属

亜鉛など主要地金の需要および為替・LME価格が堅調に推移したこと等により当セグメントの売上高は、前年同期比79億円（8.7%）増加の992億円、経常利益は、64億円（392.9%）増加の81億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

亜鉛（当第3四半期連結累計期間の生産量161千t＜共同製錬については当社シェア分＞）

鉛（当第3四半期連結累計期間の生産量51千t）

③自動車機器

自動車需要は、北米・中国を中心に堅調に推移しました。これにより当セグメントの売上高は、前年同期比119億円（18.4%）増加の771億円、経常利益は15億円（86.0%）増加の32億円となりました。

（主要な品目等の生産実績及び受注状況）

自動車用機能部品（当第3四半期連結累計期間の生産金額672億円）

④関連

エンジニアリング事業の受注や各種製品の需要が総じて堅調に推移しました。当セグメントの売上高は、前年同期比88億円（11.1%）増加の882億円となりました。経常利益は、各種製品の販売の増加やコスト削減効果等により11億円（71.8%）増加の27億円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間実績および為替・非鉄金属価格等の変動要因や第4四半期の状況を勘案の上、以下の通り、見直しております。

(単位：百万円)

		今回予想 (A)	前回予想 (B)	増減金額 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	機能材料	150,200	152,900	△2,700	△2%
	金属	142,400	135,900	6,500	5%
	自動車機器	103,100	100,700	2,400	2%
	関連	116,900	117,900	△1,000	△1%
	消去又は全社	△42,600	△47,400	4,800	-
	合計	470,000	460,000	10,000	2%
営業利益		27,800	27,800	0	0%
経常利益	機能材料	10,500	12,400	△1,900	△15%
	金属	11,000	8,100	2,900	36%
	自動車機器	5,000	5,700	△700	△12%
	関連	4,800	4,200	600	14%
	消去又は全社	△2,800	△1,900	△900	-
	合計	28,500	28,500	0	0%
当期純利益		19,000	16,900	2,100	12%

	4月～12月 実績	1月～3月 見込	今回予想	(参考) 前回予想
為替 (円/US\$)	107	118	110	104
亜鉛 LME (\$/t)	2,206	2,100	2,180	2,196
鉛 LME (\$/t)	2,092	1,900	2,044	2,120
銅 LME (¢/lb)	308	250	294	306

上記、連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績は様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が544百万円増加、退職給付に係る資産が281百万円減少、利益剰余金が825百万円減少しております。なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,290	13,070
受取手形及び売掛金	82,582	88,595
商品及び製品	26,026	28,992
仕掛品	27,716	31,287
原材料及び貯蔵品	31,573	38,590
繰延税金資産	3,926	4,015
その他	11,410	16,404
貸倒引当金	△133	△145
流動資産合計	198,392	220,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	155,615	160,370
減価償却累計額	△103,660	△107,556
建物及び構築物(純額)	51,954	52,814
機械装置及び運搬具	306,122	324,078
減価償却累計額	△254,171	△270,148
機械装置及び運搬具(純額)	51,950	53,929
鉱業用地	507	508
減価償却累計額	△234	△234
鉱業用地(純額)	273	273
土地	32,718	32,914
建設仮勘定	9,536	9,964
その他	52,134	54,909
減価償却累計額	△42,171	△44,046
その他(純額)	9,963	10,862
有形固定資産合計	156,397	160,759
無形固定資産	4,177	3,851
投資その他の資産		
投資有価証券	134,337	136,810
長期貸付金	501	567
繰延税金資産	2,231	2,361
退職給付に係る資産	2,830	3,172
その他	5,344	5,906
貸倒引当金	△387	△431
投資その他の資産合計	144,857	148,386
固定資産合計	305,432	312,998
資産合計	503,825	533,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,699	42,659
短期借入金	59,084	63,398
コマーシャル・ペーパー	10,000	7,500
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	2,320	2,798
繰延税金負債	24	9
引当金	6,399	4,484
その他	28,362	32,185
流動負債合計	159,891	163,036
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	89,416	90,211
繰延税金負債	4,715	5,071
引当金	2,559	2,394
退職給付に係る負債	22,784	23,245
資産除去債務	2,344	2,340
その他	2,246	3,117
固定負債合計	174,066	176,381
負債合計	333,958	339,418
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,129	42,129
資本剰余金	22,557	22,557
利益剰余金	92,190	106,857
自己株式	△596	△601
株主資本合計	156,280	170,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,653	2,393
繰延ヘッジ損益	△205	△3,456
為替換算調整勘定	3,531	15,313
退職給付に係る調整累計額	△388	△292
その他の包括利益累計額合計	4,591	13,957
少数株主持分	8,994	9,489
純資産合計	169,867	194,390
負債純資産合計	503,825	533,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	322,641	345,351
売上原価	271,488	288,819
売上総利益	51,153	56,531
販売費及び一般管理費	33,588	33,494
営業利益	17,565	23,037
営業外収益		
受取利息	106	170
受取配当金	624	1,092
為替差益	852	-
持分法による投資利益	770	938
不動産賃貸料	762	660
その他	543	610
営業外収益合計	3,660	3,472
営業外費用		
支払利息	1,722	1,576
為替差損	-	91
その他	1,260	1,145
営業外費用合計	2,982	2,813
経常利益	18,243	23,696
特別利益		
固定資産売却益	514	234
受取保険金	-	242
その他	133	255
特別利益合計	648	731
特別損失		
固定資産売却損	56	20
固定資産除却損	557	689
減損損失	33	39
事業構造改善費用	421	392
その他	1,730	533
特別損失合計	2,800	1,676
税金等調整前四半期純利益	16,091	22,752
法人税、住民税及び事業税	3,220	5,081
法人税等調整額	901	0
法人税等合計	4,122	5,081
少数株主損益調整前四半期純利益	11,968	17,670
少数株主利益	303	571
四半期純利益	11,665	17,098

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,968	17,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,267	736
繰延ヘッジ損益	△852	△2,322
為替換算調整勘定	5,023	4,521
退職給付に係る調整額	-	86
持分法適用会社に対する持分相当額	3,080	6,480
その他の包括利益合計	8,520	9,503
四半期包括利益	20,489	27,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,882	26,464
少数株主に係る四半期包括利益	606	708

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属 ・資源	電子 材料	素材 関連	自動車 機器	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	34,399	82,798	48,090	75,818	64,959	306,066	16,575	322,641
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,521	31,959	2,520	19,017	180	55,199	△55,199	—
計	35,921	114,758	50,610	94,836	65,139	361,266	△38,624	322,641
セグメント利益	4,700	1,780	2,818	8,781	1,766	19,847	△1,603	18,243

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,956百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	110,996	87,179	77,127	66,721	342,026	3,325	345,351
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,523	12,038	10	21,510	38,083	△38,083	—
計	115,520	99,218	77,137	88,232	380,109	△34,757	345,351
セグメント利益	10,978	8,116	3,286	2,798	25,179	△1,482	23,696

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,109百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成26年4月1日付の全社的な組織改編に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来の機能材料、金属・資源、電子材料、素材関連及び自動車機器から、機能材料、金属、自動車機器及び関連セグメントに報告セグメントの区分方法を変更しております。

変更後の各セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

セグメント	主要製品等
機能材料	電池材料（水素吸蔵合金、マンガン酸リチウム、電池用亜鉛粉）、 排ガス浄化触媒、機能粉（マグネタイト）、金属粉、 レアメタル化合物（セリウム系研磨材、酸化タンタル、酸化ニオブ）、希土類 電解銅箔、薄膜材料（スパッタリングターゲット）、 セラミックス製品（アルミ溶湯濾過装置、アルミナ系・SiC系セラミックス）、単結晶
金属	亜鉛、銅、鉛、金、銀、硫酸、亜鉛合金、 産業廃棄物処理、土壌調査、地熱蒸気
自動車機器	自動車用機能部品
関連	酸化亜鉛、リサーチ、アルミ・マグネダイカスト製品、 パーライト（建築材、湿式濾過助剤、断熱材、乾式濾過助剤、土壌改良材）、 人工軽量骨材、粉末冶金製品、非破壊型検査装置、研削砥石、 非鉄金属・電子材料等の販売、伸銅品（銅板、銅条、黄銅板、黄銅条）、 亜鉛板（印刷用亜鉛板、防食用亜鉛板、建材用亜鉛板）、 各種産業プラント・環境機器・自動化機器等のエンジニアリング、 建築・土木等の建設工事の設計・施工、ポリエチレン複合パイプ、情報処理システム

前第3四半期連結累計期間について変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	機能 材料	金属	自動車 機器	関連	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	99,606	79,219	64,959	62,281	306,066	16,575	322,641
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,345	12,086	180	17,124	33,736	△33,736	—
計	103,951	91,305	65,139	79,406	339,802	△17,161	322,641
セグメント利益	14,002	1,646	1,766	1,628	19,044	△800	18,243